

# 付属品について



## 《付属品の出荷基準について》

- 1) バリケード(全種類)×1台につき..
  - ・長ボルト+ナット=3本
  - ・長ロックピン=1本
- 2) コーナー×1台につき..
  - ・短ボルト+ナット=2本
- 3) ドア×1台につき..
  - ・短ボルト+ナット=2本
- 4) 六角レンチ、ゴムハンマーの数量は任意で依頼



長..バリケード土台同士の連結に使う

短..主にパネルと土台の固定に使い、直線などのエンドに用いる (※長ロックピンでも可)



長..①バリケード土台同士の連結に使う  
 ②下地凸凹時にパネル側面の長穴を利用し連結する  
 ③コーナー用の逆90度の時に土台固定として使う

短..①主にパネルと土台の固定に使い、直線などのエンドに用いる  
 ②主にコーナー用の折れ曲がる土台とパネルの固定に使う  
 (※長ボルトでも可)

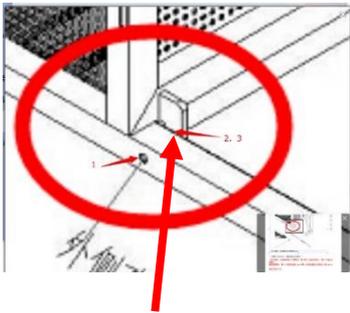
# 設営手順 (運搬⇒パネル起こし)



設置したい場所まで2名で運ぶ  
土台の内側、外側に注意する



1名でパネルを起こし土台枠の  
ボルト穴に合わせ立てる



パネルのボルト穴プレートを  
土台枠の内側に入れる



踏み台(ステップ)を回転させ  
パネルに当てバリエードを安定させる

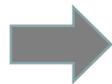


パネルを立てても土台のボルト  
はまだ止めない

土台の向きは、用途に合わせて人が乗る方がどちら側なのかを決める

- ・通常は人などの雑踏側に踏み板がきます
- ・障害物やステージ側に土台の枠がきます

# 設営手順 (ボルト・ロックピンの固定)



バリケードを隣接させる位置まで移動し並べる



- ①バリケードを並べる
- ⇒②バリケードとバリケードを横に接着させる
- ⇒③ボルト、及びロックピンでパネルと土台を固定しながらバリケード同士を連結させる

※連結は長いボルト(ロックピン)を用いる  
※(連結しない)エンドは短い方を用いる方が良い

## ! ボルト、及びロックピンを土台穴に挿入するコツ

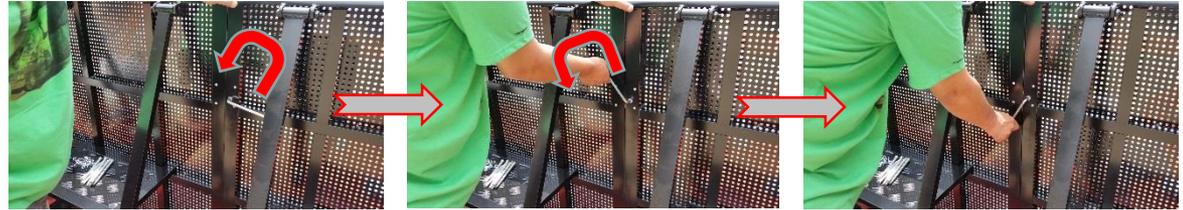


左写真のように踏み台(ステップ)を固定する事でパネルが固まってしまう。  
その為、土台枠のボルト穴とプレート穴がずれてしまい、ボルト(ピン)を挿入しづらくなる。  
その場合は、ステップを反転させ解除させる事により、穴同士を合わせやすくなります。

# 設営手順 (パネル・土台の連結)



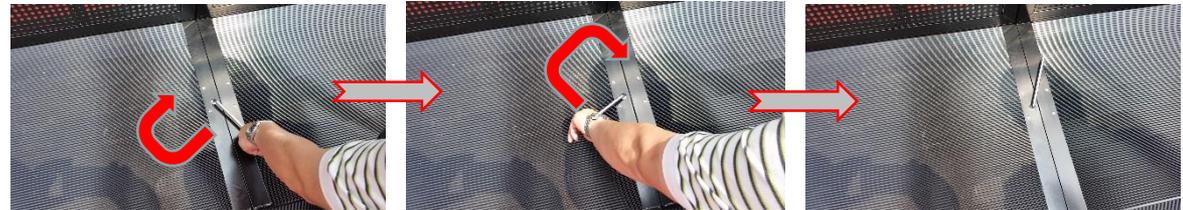
パネル同士の連結は六角レンチを用いロックする



パネル同士のロックはひらがな「の」の字の反対(逆さ時計回り)で閉まる



土台同士の連結も六角レンチを用いロックする



土台同士のロックはひらがな「の」の字(時計回り)で閉まる



**!** 下地レベルが凸凹の時はロックが使えない為、パネル側面の上下にある長穴(5cm)を使い長ボルト+ナットで連結する。  
また、土台が空中に浮いたりするので、コンパネ、またはベニヤ板等を準備し土台の下へ挿入させバリケードを安定させる。

有効段差は0~35mmまで対応可能

# 設営手順 (コーナー用バリケード)

コーナー用は90° までどちら側にも自在に角度をつける事ができます

## 【 内側へ90° の使用例 】



## 【 外側へ90° の使用例 】



センター蝶番の下にあるパネルと土台は**短ボルト**を使い固定する  
・コーナー用はパネルを立てる時、不安定なので注意する  
・土台枠のボルト穴プレートをパネルの外側に合わせる  
・短ロックピンは使用しない

①

外側へ90° で使用の時、土台枠同士は**長ボルト**を使い固定する  
・長ロックピンでは遊びがあるので使用しない

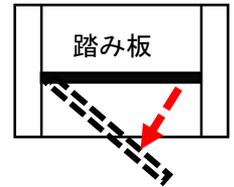
内側へ90° で使用の時は  
踏み板にあるロックを閉め固定する

②



# 設営手順 (ドア)

ドア開閉の向きは事前に決めておく (片開きの為)

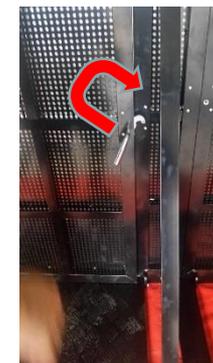


※踏み板側には開きません

上写真のようにバリケードを傾けパネルと土台の固定は裏面から  
短ボルト+ナットを使い固定する

- ・ドアを傾ける時、不安定なので注意する
- ・この作業時は必ず扉を閉めた状態で行う

ドアを起こす



- ・ドアバリケードを運搬、移動、連結の際は扉を閉めて行う
- ・単独で開閉すると扉の重みで土台を擦ってしまうので、  
必ず両横にバリケードを最低1枚ずつ連結させる

ドアノブは片側にしか付いてません

- ・ひらがなの「の」の字(時計回り)に回すと閉まります
- ・カギはありません